

（編集後記）

現在小学生になる息子の成長とともに、市の事業には大変お世話になりました。「市施策」と聞くと、難しく感じるかもしれませんが、誰一人として無関係な方はいません。

忙しい業務の合間にご回答いただきました各課の皆さま、ありがとうございました。特に直接顔を合わせるヒアリングでは、ご自身の言葉で語る真摯な姿勢を感じました。決して書類上では感じ取れなかった温もりや背景も垣間見え、各課の取り組みを知ることができました。

市民代表としてそれを受け取った私たちが、報告書を通して皆さんにお伝えする橋渡しができるよう、ヒアリング時の情景が思い浮かぶような文章を心掛けています。想いの乗った部分を感じていただけると幸いです。

最後に、このような貴重な機会に携われたことに感謝し、今後も住みやすい伊丹市の実現を願っています。

（石川）

今年度から、市民オンブード3名全員が入れ替わりました。私は学識経験者として、市民から選出されたお二方の熱い思いを、伊丹市役所の各部署の方々にお伝えできるよう尽力いたしました。

この報告書を、次年度の計画実施のために役立ててくださり、伊丹市民の皆様が生き生きと暮らせる地域社会の実現に一歩でも近づけることを願っております。

（日比）

女性が不幸な社会は、男性にとっても不幸です。男女が本当に良い関係を保ちながら、誰もが誇りをもって豊かに生きられる社会を目指そう。そうした思いを自分なりに実践してみようと、今年度のオンブードに応募しました。型にはまらない、一市民としての感性にあえてこだわって、市行政の改善に役立ててもらえればという気持ちで声を励まして発言しています。

ヒアリングでは、とくに各相談業務を通して、窓口で直接に市民と向き合う職員さんたちの働きをすばらしいものに感じました。誠実に仕事をする有能な市役所職員の方々の「一生懸命」を最も良い形に引き出すべく、できるだけざっくばらんな雰囲気での対話を目指して、自分なりのベストを尽くしました。

今回初めて出会ったすてきなオンブードの仲間たちと一緒に、三人三様の個性や問題意識で、それぞれの一角を照らしながら、来年度はさらにステップアップした活動ができるようにと、楽しみにしております。どうぞご声援ください。

（元見）

伊丹市DV相談室

伊丹市配偶者暴力相談支援センター
専門の相談員が相談に対応しています。

TEL:072-780-4327

面接・電話相談 平日:9時～17時30分
(土・日・祝日年末年始除く) 匿名可・秘密厳守

ここいろ 伊丹市立男女共同参画センター

伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商エプラザ5階

TEL:072-781-5516

・女性のための悩み電話相談

TEL:072-781-5531 (月曜・第1日曜)

・男性のための悩み相談

TEL:072-781-5532

(第1土曜日)

・セクシュアルマイノリティ相談

TEL:072-767-1012

(第1・第3金曜日)



【発行・問い合わせ】

伊丹市市民自治部共生推進室男女共同参画課 TEL:072-784-8146 FAX:072-780-3519

伊丹市男女共同参画施策

市民オンブード調査報告（概要版）

令和5（2023）年度事業内容

伊丹市長の委嘱により、市民の立場から本市の男女共同参画計画の進捗状況についてチェックする、伊丹市男女共同参画施策市民オンブードの令和5（2023）年度事業内容に対する報告書がまとめられ、市長に提出されました。
このリーフレットは、「報告書」の概要版です。

市民の意見を直接
市長に届けました！
全国で唯一カモ！？



伊丹市マスコット
たみまる

【報告書の目次】

第3期伊丹市男女共同参画計画 進捗状況報告

数値目標及び達成状況

令和5(2023)年度 進捗状況の概要

体系表・伊丹市特定事業主行動計画 実績値状況(女性活躍推進法)

第3期伊丹市男女共同参画計画 市民オンブード調査報告

基本目標1 男女共同参画に関する啓発・教育の推進

【基本施策1】拠点施設ここいろを中心とした、市民への多様な啓発の推進

【基本施策2】学校等における教育の推進

【基本施策3】市民の主体的な学習の促進

基本目標2 仕事と生活の調和の推進

【基本施策1】性別に関わらない、仕事と子育て・介護との両立支援の促進

【基本施策2】全ての人の地域社会への参加の促進と、地域活動における男女平等の推進

【基本施策3】多様な働き方の推進

基本目標3 女性の活躍の推進

【基本施策1】意思決定過程への女性の参画拡大

【基本施策2】男女間経済格差の解消の促進

【基本施策3】女性のキャリアの形成支援

基本目標4 困難を抱える女性への支援

【基本施策1】感染症大流行その他大規模災害の影響を受けた女性への支援

【基本施策2】心身の不調を抱える女性への支援

【基本施策3】貧困等生活上の困難に直面する女性への支援

【基本施策4】ひとり親家庭への支援

【基本施策5】複合的に困難な状況にある人への対応

基本目標5 暴力など、女性に対するあらゆる人権侵害の防止

【基本施策1】性暴力の防止

【基本施策2】DVの防止

【基本施策3】性別に基づくハラスメントの防止

基本目標6 男女共同参画の視点による防災の推進

【基本施策1】防災・復興に関する男女共同参画の視点の強化

基本目標7 推進体制の整備・強化

【基本施策1】庁内推進体制の強化

【基本施策2】市民、行政、団体等の連携の推進

くわしくは、中面へ！⇒

下記のホームページには、資料を含む「報告書」と「概要版」を合わせて掲載しておりますのでご参照ください。

市民オンブード調査報告書(平成23(2011)年度～令和5(2023)年度)

伊丹市ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp/>

([オンブード調査報告書](#) [検索](#))





基本目標ごとのオンブード評価



オンブード調査では、計画の基本目標別に、担当課へヒアリングや書面で質問を行い、その結果や意見を報告書にまとめました。報告書の内容からピックアップしてお知らせします。



【基本目標1】

「オンブード」アピールの工夫を

伊丹市独自の施策である「オンブード」は全国に向けて伊丹をアピールできる恰好の材料です。市内だけではなく、できるだけ市外の人へのアピールの工夫をお願いしました。

子育て支援事業を網羅した一覧表作成を提案

市内の各子育て施設では、それぞれの特性や地縁を生かした講座や支援が積極的に展開されています。地域子育て支援拠点は「ここいろ」内の「いたみむっくむっくルーム」を含め、市内に8か所あります。そのほか、乳幼児をもつ世帯が参加できる事業としては「とりば(次世代育成課)」「ここいろ☆ぱぱサロン(男女共同参画センター)」「ひだまりひろばでパパと遊ぼう(人権啓発センター)」があります。ところがこうした事業の情報は、それぞれの施設が発信するので、検索はかなり面倒、見逃しやすいことになっています。市民が利用しやすいように、これらすべての支援事業を網羅した一覧表の作成の検討をお願いします。

学校教育現場への提言

性教育に関して、教育効果や成果を調査するように工夫することを提言しました。

また、小中学校のトイレ環境の整備に関して、学校により設備にバラつきができるのは心配なので、できるだけすみやかに差異を解消するように提言しました。

そして、子どもたちと向き合う教職員の意識に、世代差や性差が生じることのないようにと指摘しました。新規採用者向けの人権教育研修の中には、内容がとても優れたものがあり、もしも可能な場合には、広く一般市民に呼びかけて参加を求めたいです。同じ研修を一緒に受けて、共通認識を持つことができれば、市民への啓発効果のほか、教員と市民との相互理解を深める一助になると思います。

男女共同参画センター「ここいろ」を応援

「ここいろ」の講座等参加者の中から、資格を取り、センターの相談員を担う人材、子育て支援グループに参加する人材が育っている事例を確認しました。「ここいろ」は普段からも精力的に事業やセミナーを展開し、センターの職員の皆さんが温かく丁寧な対応をしておられることが評価されます。これからも、どんどんと外へ出て、積極的にアピールしながら、「ここサークル」などを通じ、市民をまきこんでの啓発活動に期待します。



【基本目標2】

事業所の意識改革への働きかけ

伊丹市では、男女共同参画の視点で優れた事業所の表彰を行っています。表彰事業の周知や、応募数、表彰される意義向上への工夫をお願いしました。また、事業所同士が交流できる場を設け、伊丹市全体の労働環境の底上げも図っているとのことでした。

男性が積極的に育児に関われるような社会に

もうすぐパパママ教室には8割以上がパートナー同伴ということは好ましいですが、妊婦全体の1割程度の参加率とのことでした。参加率向上に期待します。

子育てひろばへの男性参加者も増加傾向にあり、参加者同士の交流も見られ好評のようです。今後も反応や要望に応じて柔軟に対応していくとのことでした。

ファミリーサポート事業の促進に向けて

ファミリーサポート事業の利用希望者が増加している一方、サポート協力者は不足しています。協力者が活動を始める前に受ける必須講座のうち、可能なものはオンライン講座も用意するなど、利用希望者・協力者の双方が利用しやすい形態に検討願います。

【基本目標3】

「ガラスの天井」人事課とのやり取りから

ヒアリングでは「男女関係なく」という文言を何度も聞きましたが、残念ながらまだまだ女性の抱える「ガラスの天井」という見えない障壁を日々感じている方は多いです。

市行政として、女性に重きを置く施策転換により、リーダーだけでなく様々な選択肢を女性に提供していただくようにお願いしました。

質の高い就業・就労支援を

就業・就労希望者に対して各々の希望や悩みに添う支援をしているとのことでした。その支援の実施にあたっては、担当者の高いスキルと幅広い専門知識が必要なので、養成研修や応募資格の要件も設けているそうです。支援員の質の高さを維持する努力がなされていることを確認しました。



【基本目標4】

「市民の命を守る窓口」の安定した運営

市民の医療・健康相談、出産・育児相談、メンタルヘルス、介護相談、夜間・休日の医療機関の案内など様々な相談に対応している「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」での相談件数は、令和5(2023)年度は、21,904件とのことでした。「市民の命を守る窓口」として、24時間医師が常駐する体制を整備しており、必要時に即応できるようにしているのは、すばらしいと思います。今後も、もしもの時に市民が頼りにできる窓口の安定した運営をお願いします。

心の回復も組み込んだゲートキーパー研修を

市の全職員が、来庁者の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応をとることができるよう、ゲートキーパーの役割や、「傾聴」の方法についてロールプレイを交えた研修を受けているとのことでした。全職員が共通理解をもって職務にあたっておられることは市民としてありがたいことです。ただ、キーパーになる側の心の負担も心配なので、キーパーの心の回復についても必ず研修とセットで組み込んで実施、継続していただきたいです。

子宮頸がん・乳がん検診等の周知方法の工夫を

大学や専門学校と連携した周知方法を新たに提案したところ、学生が市や県をまたいで通学するため、市としての対応は難しいとの回答でした。しかしながら、国や県に要請するなどして、大学や専門学校と連携し、情報提供が必要な対象者へのアプローチを模索してほしいとお願いしました。そもそも若年層にとっては、産科・婦人科へ行くことの敷居が高いので、それをプラスのイメージにできるような啓発の工夫も、ぜひ検討してほしいとお願いしました。

ヤングケアラー自身が相談しやすい仕組みを

令和5(2023)年度は関係機関と連携し16件のヤングケアラーを確認したとのことですが、子ども本人によるこども福祉課への直接相談はなかったということです。子ども自身が市の福祉課へ直接相談することはなかなか難しいと思います。本人の周りの教職員や友人などが、彼らの声を拾いあげられるような仕組みをぜひ模索していただきたいです。わずかな兆候を見逃さないよう、関係機関との連携を密にし、子どもからの情報を収集する方法を検討し支援を続けていただきたいです。



【基本目標5】

犯罪防止に対する働きかけの工夫を

デートDVやストーカー被害など様々な相談業務の周知啓発のためにイベントや講演会を実施しているとのことでした。また、誰もが被害者・加害者になる可能性があるため、そうならないように性犯罪防止に関する周知啓発が必要であると考えているとのことでした。

引き続き、中高生や大学生といった若年層への啓発活動も行うなど、幅広いアプローチを継続していただきたいです。

【基本目標6】

防災分野での女性割合の増加に向けて

女性比率は、伊丹市防災会議、伊丹市危機管理室、いずれにおいても1割程度とのことでした。災害においては老若男女に必要な支援への理解が必要不可欠で、当事者でなければわからないことも多々あります。まずは女性比率20%という目標を達成し、将来的にはそれ以上の男女比は正を求めます。そしてマニュアル作成、避難所設営、物資購入に女性の視点が活かされるよう期待します。

伊丹市の防災力アップへ

防災士養成講座を三木市のみではなく、伊丹市でも受講できるよう、県への要望を引き続きお願いします。また防災士資格取得後には、取得して終わりではなく、地域活動へつながる場づくりを期待します。

【基本目標7】

働きやすい制度の整備だけでなく、制度を適切に使える職場環境の維持を

伊丹市役所では、男女問わずワーク・ライフ・バランス確保のため、場所や時間に捉われない柔軟な働き方の制度を整備しており、男性の育児休業取得率は5割との報告でした。職場の意識という点では年々改善しているように思いました。しかし、育休や時短の制度は「使いたい人が使える」環境が大切です。一概に取得率向上や意識改革を目指すのではなく、制度を「使う側」、「使わせる側」どちらもが制度の魅力を知り、適切に使っていける職場環境の維持をお願いします。

